

富津市次世代育成支援行動計画推進会議議事録

1	会議の名称	富津市次世代育成支援行動計画推進会議
2	開催日時	平成21年11月13日 午前10時00分～11時30分
3	開催場所	市役所2階 第3委員会室
4	審議等事項	(1) 富津市次世代育成支援(後期)行動計画素案について (2) その他
5	出席者名	○委員(13) 渡邊まさ子、前田道夫、小原生代、長嶋徳兵衛、坂本秀則、稲村重夫、杉崎敬、萱野孝夫、鈴木千鶴子、本多泉、長谷川令子、末令子、矢房麻里子 ○事務局(4) 森田健康福祉部長、石井児童家庭課次長、鈴木主幹、平野主査 ○オブザーバー 市民部長、建設部長、市民課長、社会福祉課長、健康づくり課長、学校教育課主幹、教育センター指導主事、体育振興課長、生涯学習課長、市民会館長、中央公民館長
6	公開又は非公開の別	<u>公開</u> ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当 (理由)
8	傍聴人数	0人(定員5人)
9	所管課	健康福祉部 児童家庭課 電話 80-1256
10	会議録(発言の内容)	別紙のとおり

上記会議の経過を記載し、事実と相違ないことを証するためにここに署名する。

平成21年 月 日

会議録署名委員

会議録署名委員

富津市次世代育成支援行動計画推進会議録

発言者	発言内容
事務局(石井)	<p>それでは皆さんおはようございます。今日は大変冷え込んでまいりました。またお集まりいただきましてありがとうございます。委員の方で来るべくしてまだ2人の方が見えておりませんが、定刻でございますので只今から富津市次世代行動計画推進会議をはじめさせていただきます。よろしく願いいたします。まず最初に渡邊委員長よりご挨拶をお願いします。</p>
渡邊委員長	<p>おはようございます。公私ともにお忙しいなか、また早い時間からお集まりいただきましてありがとうございます。今日は13日の金曜日ということで、昔はすごく気になった日にちでしたが、今はさほど気にも留めなくなりました。今日は富津市次世代行動計画“いいじゃないか！ふっつ”の後期計画の素案を初めて皆様にご審議して頂くことになっています。今日の会議は新しい5か年に向けての第一歩となる会議ですので、委員の皆さんから建設的な意見を頂戴してより良いものにしたいと思っています。よろしくご審議お願いいたします。本日はご出席ありがとうございます。</p>
事務局(石井)	<p>ありがとうございました。それでは資料の確認をさせていただきます。すでに皆様のご自宅にお送りをさせていただきましたけれども、まず会議次第でございます。それと富津市次世代行動計画（後期）素案でございます。これにつきましても送らせていただきましたが、こちらの都合で発送が遅れて申し訳ございませんでした。一日前くらいに届いたのではないかなと思います。大変申し訳ございませんでした。さらに机の上に、平成21年10月9日富津市次世代行動計画推進会議に題する質問および回答ということでございます。委員の方から多岐にわたるご質問がございました。そちらは各課の回答を取りまとめたものでございますので、よろしく願いいたします。この件につきましては、(2)その他でお話をさせていただきますのでよろしく願いいたします。また、本日は庁内会議および幹事会の職員がオブザーバーとして参加しておりますのでご了承をお願い</p>

<p>渡邊委員長</p>	<p>いしたいと思います。それでは議事に入りたいと思います。設置要綱第6条より、委員長が会議の議長になるということになっておりますので渡邊委員長よろしくをお願いいたします。</p> <p>はい、それでは会議を進めさせていただきます。座らせていただきます。本日の会議は只今13名のご出席をいただいておりますので、過半数の出席有りということで成立いたします。そして本日の議事録署名人ですが、こちらで指名させていただいてよろしいでしょうか。それでは矢房委員をお願いしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>矢房委員</p>	<p>はい。</p>
<p>渡邊委員長</p>	<p>それでは本日の議事録は、後日事務局より委員の皆様へ送付させていただき予定でございますのでよろしくお願いいたします。それでは議事に入ります。議題（1）について、事務局の説明を求めます。</p>
<p>事務局(平野)</p>	<p>皆さんおはようございます。それでは議題（1）富津市次世代育成支援（後期）行動計画素案についてご説明いたします。座らせていただきます。お手元に、お送りした次世代行動計画の素案と前期の黄色の計画書についてはお持ちでしょうか。ない方がいましたら今お持ちします。それでは前期の計画書と後期の計画書を対照しながら変わった点について説明いたします。素案ですが、ページが91ページまでございますので、途中27ページまで一度区切りまして、その後28ページから91ページまでと2回に分けて説明を行います。それでは説明に入ります。</p> <p>素案の1枚目をめくってください。ここは今後市長の挨拶文が入ります。続いて目次になります。こちらの目次ですが、前期と構成については変わっておりません。</p> <p>続いて素案の本題の1ページ目に入ります。計画策定の背景ですが、本文の1行目から10行目までの文面を後期計画に合わせ変更しております。</p> <p>続いて2ページをご覧ください。計画の持つ性格・期間の部分です</p>

が、上から3行目、「また、富津市基本構想に基づき・・・」より以下について、後期の内容に変えています。その下の図では、計画期間がございませすが、前期計画書の2ページと比較してください。前期計画では1期・2期という表現をしていましたが、後期計画では前期・後期という表現に変えております。

続いて3ページをご覧ください。計画の全体像ですが、一番下を「後半のスタートです。」の文面に変更しています。前期は「さあ、スタートです。あなたもいっしょです！」という文面でしたが、ここを修正しています。

続いて4ページ、次世代育成の5つの目標ですが、こちらの図は前期と同じものを使っています。

続いて5ページ、こちらは新しく入った部分です。上に富津市の基本構想がございまして、その下に富津市次世代行動計画が位置づけられていることを示しています

続いて6ページ、前期計画書では5ページになります。こちらは変更ございませせん。

続いて7ページ、“あかちゃんって、いいじゃないか！”ですが、ここは内容の変更はございませせん。主旨としまして妊娠・出産の準備期での子育てを応援することが書かれています。

続いて8ページ、下の方に円で行政と書かれた部分がございます。「新生児への全戸訪問」とあります。前期は「マタニティサークル」が入っていましたが、後期はこの言葉に変わっています。

続いて9ページ、“大きくなるって、いいじゃないか！”があります。ここでは親子のふれあい、喜び、驚き、苦勞、発見を通して、親も子も成長し、共感する子育てを応援することを目標に掲げています。この目標についても変更ございませせん。10ページも前期と同じです。

続いて11ページ、“がんばるって、いいじゃないか！”ですが、ここでは子どもの生きる力づくり、情熱、意欲と個性豊かな人間性を持ち心身ともに健やかに成長することを目標としています。11～12ページの文面についても前期と変更はございませせん。

続いて13ページ、“つながるって、いいじゃないか！”ですが、ここでは生まれ育った富津市を愛する心を持ち、やがて将来結婚し子どもを育てていきたいといったニュアンスを含んだ活動期を表しています。こちらについても前期と変更はございません。

続いて14ページ、前期計画書では13ページになります。行政と書かれた円がございませぬ。「優良企業誘致」とあります。前期は「リサイクル産業集積」でしたが、後期はこちらに変更しています。

続いて15ページ、“ホットするって、いいじゃないか！”ですが、ここでは行政と市民が力をあわせ、住環境を整えながら更なる子育て環境の充実を目標としています。15～16ページは変更はございません。

続いて17ページをご覧ください。こちらの重点施策ですが、前期は「5年間の重点施策」でしたが、後期では「前期・後期の重点施策」に変更しています。また、重点1の上から6行目は、「すでに行われているボランティア団体や・・・」に文面を変更しています。続いて重点2の上から5行目は、「支援組織内の個人情報管理体制や・・・」に文面を変えております。続いて重点3の上から2行目は、「次世代育成を応援する意欲と・・・」に文面を変えております。続いて重点4の上から4行目は、「ホームページの活用を進めるとともに・・・」に文面を変えております。

続いて19、20ページは、新たに後期に加わった重点目標となります。まず重点目標1ですが、ここでは市民からの要望が多かった経済的負担の軽減から子ども医療費の助成を行っていくことを目標としています。続いて重点目標2では、学童保育クラブや今後複合施設の中に建設予定である子育て支援センターの充実を目標としています。続いて重点目標3では、親子のコミュニケーションの場の促進、集会場や公園をはじめ、子育て環境の充実を図ることを目標としています。この3つの目標が後期の目玉となる目標です。

続いて21～22ページのサイクルですが、引き続き、現在行われている庁内会議等を実施してまいります。特に変更はございません。

続いて23～27ページ、前期次世代育成支援行動計画の目標達成状況ですが、こちらは今回新たに後期計画に加えたものです。前回実施した事業のなかで、具体的目標を設置した事業の成果を書いています。全部で164事業あり、具体的目標事業が48事業あるうち、達成32（67%）、一部達成9（19%）、未達成7（14%）となっております。隣の5という数字は新規事業になります。評価方法は、達成◎、一部達成○、未達成×の表記をしています。事業名、内容は記載してあるとおりです。一度ここで区切りまして、説明を終わらせて頂きます。

渡邊委員長

ありがとうございました。委員の皆さん、ただいまの説明に対して質問がありましたらお願いします。いかがでしょうか。今の今で質問というのも厳しいかと思しますので、会議終了後または後日にでもお気づきの点等ございましたら、事務局に質問することもできますので、とりあえず説明ということで今の時間は進めさせていただきますが質問等ございませんでしょうか。進めさせて頂いてよろしいでしょうか。はい、それではそうさせていただきます。それでは続いてお願いいたします。

事務局(平野)

続きまして28～91ページまでの説明になります。ここでは後期行われる事業計画を示しております。前期計画は21ページからになります。

まず28ページの事業計画ですが、こちらについては前期と表現等は変更ございません。

続いて目標1の“あかちゃんっていいじゃないか！”は29ページとなりますが、こちらの文面は前期と変更ございません。

続いて30ページですが、一部訂正がございます。現状（H20）となっておりますが、正しくは現状（H21）となりますのでご訂正願います。ここで変わりました事業名ですが、前期では「テレフォン・所内相談」でしたが、後期では「乳幼児相談」に変更しています。続いて前期は「母性健康管理指導連絡カード」がありましたが、こちらは母子手帳の中で事業の内容が書かれているということで、後期では「妊娠届出時面接相談、母子健康手帳の発行」の方に包含しています。

渡邊委員長
事務局(平野)

続いて31ページですが、前回「マタニティサークルの開催」がございましたが、こちらの事業は参加者があまりおらず、サークルとしての開催は難しいということで事業は削除いたしました。それに伴い、上に書かれている文言についても、3～4行目に書かれていましたマタニティサークルの開催の文言を削除しています。

続いて34ページ、上から3～7行目の「また各教室や健診は・・・」について、前期と比較し変更しています。

すいません、32～33ページは変更ないですね。

はい、すいません。32～33ページは変更ございません。

続いて35ページ、前期計画書では27ページになります。「食育事業」について、「児童ふれあい交流事業『親と子の食事セミナー事業』」に重複している部分が多いため、こちらに包含したことから削除しております。

続いて36ページ、文面の上から1～5行目が変更されていますが、こちらは自立支援法により文面を変更しています。前期は「居宅生活支援事業」、「身体障害児童の舗装具給付事業」、「重度身体障害児童への日常生活用具給付事業」、「障害児福祉手当」、「育児医療」、「中核地域生活支援事業」、「在宅訪問療育等指導事業」などの7事業がありました。後期は5事業に変わっています。事業数は減っていますが、サービス内容は前期からの継続となっています。

続いて39ページ、親子の成長への応援は変更ございません。

続いて40ページですが、一番上の事業「おはなし会」が新たに加わりました。また41ページですが、「子育てはがき通信ゆめーる事業」も新たに加わりました。

続いて42ページでは、上から3～4行目「また、公私立保育所(園)・・・」の文面に変更があります。事業ですが、認定こども園をみなと幼稚園ではじめていますので記載しています。

続いて43ページ、「休日夜間保育事業」ですが、前期は休日保育のみでしたが、後期は夜間を加え「休日夜間保育事業」としました。

続いて44ページ、地域における子育て支援の充実ですが、文面の

一番下の「また、地域活動の・・・」の一文を追加しています。

続いて47ページ、前期は「つどいの広場事業」がございましたが、今後実施していくのが困難なことから削除しています。

続いて46ページですが変更ございません。

続いて47ページ、「おひさま広場事業」と「移動図書館」の2つが新たに加わっています

続いて48ページ、「富津市児童虐待防止連絡会議」、「児童虐待防止サポート会議」、「児童相談所と富津市の情報交換会議」が富津市要保護児童対策地域協議会に包含されました。

続いて49ページ、生活設計の支援の文面3～6行目「また、障がい・・・」の一文が加わりました。事業では乳幼児医療の助成が継続から拡大になり、各種手当給付事業の中に特別児童扶養手当、障害児福祉手当が包含されました。

続いて50ページについては変更ございません。

続いて51ページですが、事業名「保育料第3子目無料化」が新しく加わっています。

続いて52ページ、前期計画書ですと41ページになります。上から12行目「また地域に根ざした教育を・・・」の文面が変わっています。

続いて53ページ、「豊かな体験活動事業」がありましたが、事業の廃止により除いています。

続いて54ページ、「富津中学校校舎改築事業」がありましたが、こちらは富津中学校が出来上がりましたので後期計画からは除いています。

続いて55～56ページは変更ございません。

続いて57ページ、前期では「特別支援教育コーディネーター研修事業」がありましたが、こららの事業も廃止となり、後期計画からは抜けております。

続いて58ページ、「問題を抱える子ども等の自立支援事業」がありますが、前期「問題行動に対する地域における行動連携推進事業」か

ら事業名を変更しています。

続いて59ページ、社会と学校との連携の推進ですが、高校と地域の連携が難しいことから、「高校との地域の連携事業」を除いています。文面においても、上から4行目「市内にある2つの高校には・・・」が削除されています。

続いて60ページ、「親子ふれあい学級事業」、「地域こども教室事業」がありましたが、実施をしていないということから事業を除いています

続いて61ページ、「つながるって、いいじゃないか！」については、変更はございません。

続いて62ページ、前期では「富津市体育団体事業」がありましたが、担当課よりこの事業は次世代計画に沿わないということにより、削除しています。

続いて63ページは変更ございません。

続いて64ページ、「不妊治療費助成事業」ですが、概要から「H17.1」の文言を削除しています。

続いて65ページ、生活基盤の確立支援ですが、上から1～3行目「本市の備える物流機能・・・」の文面を変更しています。

66～67ページは変更ございません。

68ページ、地域安全の充実ですが、上から5行目「犯罪から子どもを守る・・・」とありますが、「子ども」を追加しています。

69～70ページは変更ございません。

71ページ、「両立支援制度の普及事業」ですが、前期の「事業者・両立連絡会議事業」を包含しております。

続いて72～73ページは変更ございません。

74ページからですが、こちら参考資料といたしまして、ニーズ調査の内容等が書かれています。74ページではアンケート調査の回収率、75ページでは少子化の現状、76ページでは国・県・富津市の出生率が示されています。77ページでは、年齢別による配偶者率、78ページでは核家族や就業構造、79ページでは年齢別助成の就労

	<p>率、80ページでは少子化の今後の見通し、81～89ページまでは市民の子育てサービスの利用状況等を表しています。最後に90～91ページでは、市民が行政に対し充実を図って欲しい項目等を掲載してあります。簡単ですが、こちらの素案の説明を終わらせていただきます。以上でございます。</p>
渡邊委員長	<p>はい、ありがとうございました。たくさんの説明をいただきましたが、何か質問等やこのところをもっと詳しく等がありましたら委員の皆さんお願いします。</p>
矢房委員	<p>おはようございます。幼稚園保護者代表の矢房と申します。何か所か素案のなかで具体的にしたいなというところが幾つかあったんですけども、例えば44ページにですね、地域子育て支援センター現状3箇所とありますが、どういった場所で現状やっているかということ現状3箇所ではなくて、どこどこ小学校や幼稚園でやっているとか、具体的に載せていただいたほうが分かりやすいのではないかと思います。他にもその前のページ等にもあると思いますので、どこどこ小学校や幼稚園でやっているとか具体的にしたいほうがわかりやすいと思いますがいかがでしょうか。</p>
渡邊委員長 事務局(石井)	<p>はい、事務局お願いいたします。 只今貴重なご意見ということで受けたまわらせていただきました。確かにおっしゃるとおり、現状ですと一般市民の方がご覧になったときに分かりませんので、はっきりしているものについてはそのように訂正をしてここに載せたいと思います。</p>
渡邊委員長	<p>ありがとうございました。他に皆さん何かございませんか。はい、小原さんどうぞ。</p>
小原委員	<p>おはようございます。小原です。質問にもいろいろと答えて頂きありがとうございました。まずはお礼です。これを見ていて素案について思ったのが、例えば10ページ等やその前にもありますけれども、「お父さんへ、おせっかいな一言」とありますが、この言葉のニュアンスがよく考えてみると、「おせっかい」ってなんか嫌だなと思っていて、一言を言いたいのであれば、「お父さんへちょっと一言」</p>

とか「お父さんも見て」とか、おせっかいというマイナスにとるような、言ってるんだよという風に感じなくもないかなと思うのが1つと、今後このね、“いいじゃないか！ふっつ”を前回のようこういう風にするだけで終わりですか。というのも、実は調べてきたんですけども、君津市ではこういう概要版とって、どこの窓口についても置いてあるんですね。それにはどういうことが書いてあるかという、ここに書いてあることと全く同じなんですけれども、計画の期間とか計画の基本的な考えとか、子育てを支援する環境ですとか、同じなんですけれども、これを1冊読むのはおっくうであってもカラーでちょっとぱっと見れるということや、絵が優しい感じであること、あと、子育ての悩みに困っていることへの相談先が裏にありまして、どういう内容で連絡先がどこでということが確実に書いてあるんですね。親が欲しいことははっきりとした情報であって迷信とかママ友の話ではなくて、確実な情報がすぐ欲しいんですね。それがいつもたらい回しであるということや、もう1つ一番気になったのが素案の中でけっこう気軽に言葉が書いてあるんですけども、発達障害について私はいつも関心がありますが、発達障害という言葉が書いてありながら、発達障害についてご理解を頂いているかということですね。どういうことかということ、不登校と一言で言っても友達関係ができない不登校、あるいは失敗をしてしまった不登校と、発達障害が入っている不登校では、不登校の意味が違うということをお気づきかということと、特別支援学級では情緒と知的と2つありますけど、これを昔のように十把一絡げに考えることはすごく危険で、育てている親としてはこれをもって障害児とは思っていませんし、発達障害児ということをもう少し認識してもらいたいし、先生側で発達支援センターの名前を知らないということがまずびっくりでして、どなたも知っていただきたいし、「それはNPO法人ですか」なんてことを親に聞かないでもらいたいんですね。そういうことをふまえて発達障害という言葉が私が納得するとかそういうことではなくて、もうちょっと考えて使ってもらいたいと思います。よ

<p>渡邊委員長</p>	<p>ろしくお願いします。</p> <p>はい、ありがとうございます。只今表現の件とか、パンフレットで内容を凝縮した概要版の件ですとかご提案をいただきましたが、事務局回答頂けますでしょうか。前回のときにダイジェスト版が確か出ましたよね。</p>
<p>事務局(鈴木)</p>	<p>本計画の概要版につきましては、具体的なものはまだですが、やはり分かりやすいものを市民の方へということで作成の方向で検討をしています。また、構成についても概要版で分かりやすいものを制作するようにしていきます。</p>
<p>渡邊委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。また、素案のなかの表現についても、前回委員の皆さんからこういう言い回しの方がいいのではないかな等のご提言をたくさん頂いたと思うんですね。今日この場で何ページの何行の表現について等を細かく1つ1つチェックする時間がないので、ぜひ自宅に持ち帰り頂いて、現場ではこの部分をこんな風に表現しているんですとか、こんな風に言い回しすると分かりやすいですよ、という表現方法がたくさんあると思うんですね。机上論ではない、市民の皆さんに親しんでいただけるような表現が各現場にあると思いますので、ぜひ持ち帰って皆さんにもっともっと親しんで頂けるような表現に事務局の方をお願いしたいと思いますので、皆さんそれを今日の宿題として頂きたいと思いますのでどうぞよろしくお願いします。小原委員ありがとうございました。他にございますか。事務局何かありますか。</p>
<p>教育センター</p>	<p>教育センターの菊地と申します。発達障害という言葉の使い方について、小原委員よりしっかり学んで頂きたいというご意見をいつも頂いておまして、各学校の先生方も研修を積んでおりますし、そういった子どもたちの様子についても本当に勉強しているところです。やはり言葉の使い方からも、しっかりと考えていきたいと思っております。</p>
<p>渡邊委員長 鈴木委員</p>	<p>はい、ありがとうございます。鈴木委員どうぞ。</p> <p>わたしはボランティア団体の代表で出させて頂いています。ボラン</p>

ティア団体はたくさんの市民の方が活動なさってしまして、そのなかでお互いの連絡交換をしようということで、「ボランティア連絡協議会だより」を今年から作られました。お互いのボランティア活動情報を流しながら、もっと広くメンバーを集めたい、それを市民に理解してもらいたいというために、団体として何をしなくてはいけないのかということを通に理解し合うためのまずは第一歩だと思っていて、まずは「連絡協議会だより」を今出している動きは私にはありがたかったと思います。

いま小原委員がおっしゃっていた「お父さんへ、おせっかいな一言」についてなんですけれども、前期策定するにあたって本当に広く色々な方たちが子育てに関して、また次世代に関して興味を持ってほしいということで、お父さんたちを巻き込むというのはどういうことかなという中の一コマとして、ちょっと遠慮して「おせっかいな一言」という表現をしたような気がします。むしろ5年たってやっぱりこのところがお父さんの不参加とか、市民レベルのみんなで行ってという立ち上がるレベルでないのであれば、「おせっかいな一言」ではなくて、「お父さんへ、もっと参加しましょう」というような、具体的にもっと参加して欲しい言葉を表現しても今回は良いのかなという気がやっぱりします。

それからもう1つ、「つどいの広場事業」がなくなりました。この概要は乳幼児を持つ親子が気軽に集い、温かい雰囲気の中での交流・育児相談・子育て情報の提供・子育て懇親会を実施する等の内容でした。実は昨日、中央公民館の母親学級「ピッコロ学級」、これは年間を通して活動をしている親子のつどい事業だと私は思います。そのなかで、私は昨日呼んで頂きまして、講座であったり親子の遊び方であったり等を行ってきました。これはまさしくここの「つどいの広場事業」であったんじゃないのかなと思います。そうやって振り返ったときに、新しい方にも「遊遊ひろば」ですとか書いてありますけれども、これは福祉関係ではなくて公民館の活動なので生涯学習課なのか、管轄がどこになるのか、その辺りをはっきりするなかで、中央公民館でも「つ

<p>渡邊委員長</p>	<p>どいの広場」的な母親学級を行っているということを入れてもよいと思います。希望としては、中央公民館だけではなく、富津公民館、市民会館、天羽・富津・大佐和の3つの地域でこの活動を行っていくのを希望したいなと思いました。よろしくをお願いします。</p> <p>はい、ありがとうございます。只今の意見に対しまして、事務局の説明を求めます。</p>
<p>中央公民館</p>	<p>中央公民館の館長の榛沢と申します。「ピッコロ学級」につきましては、公民館の主宰事業として年9回ほど、6月から2月まで実施をさせて頂いております。これは各館で年間の事業計画をたてるなかで、その一コマということでございます。来年度も実施していく予定で考えていますけれども、あとは館自体の各々の公民館で事業を考えていますけれども、中央公民館としては今までは「つくし学級」という名前で実施しておりましたけれども、今年からは「ピッコロ学級」ということで実施をしています。そのほかにも「おやこ遊遊ひろば」ですとか、サークル団体で「かいじゅうクラブ」ということで、中央公民館で子どもたちが集まるようなことで実施をしているところが実情でございます。</p>
<p>渡邊委員長 事務局(石井)</p>	<p>この計画のなかに参考事業として組み入れることは可能ですか。</p> <p>はい、組み入れることは可能でございます。公民館と相談をしながら検討をしたいと思います。</p>
<p>渡邊委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。他の団体でもこういう事業をやっているですとか、行動計画に入っていないけれどもこういった事業がありますよといったものがありましたら、どうぞ事務局へお願いします。他にはいかがでしょうか。はい、お願いします。</p>
<p>坂本委員</p>	<p>2点ご質問をさせて頂きたいと思います。案の49ページですが、生活設計の支援のなかで、事業名「児童手当」が入っています。これは今後、「こども手当」という形で国の制度が決定次第に変更となるのかということが1点と、そして2点目ですね、前期計画書の64～67ページにかけてですね、関係部局および関係団体の一覧表が載っていますが、今回の素案ではそれが掲載されておられません。それを外し</p>

<p>渡邊委員長 事務局(石井)</p>	<p>た理由をお聞かせ頂きたいと思います。</p> <p>はい、事務局お願いいたします。</p> <p>素案のなかの49ページの「児童手当」でございます。いま政権が変わりまして「こども手当」が支給されるのではないかということが流れておりますけれども、変わりましたらそのように変更する予定でございます。それから前期計画書の関係部局の一覧については作成いたします。</p>
<p>渡邊委員長 事務局(石井)</p>	<p>素案の方には入っていないけれども計画書には入るということでよろしいんですね。</p> <p>はい、よろしく申し上げます。</p>
<p>渡邊委員長 坂本委員</p>	<p>委員それでよろしいでしょうか。</p> <p>はい。</p>
<p>渡邊委員長 萱野委員</p>	<p>はい、ありがとうございました。他にいかがでしょうか。</p> <p>75ページですが、富津市における次世代育成支援の課題ということで、一番下から2行目、「我が富津市の状況は、国・県と比べても深刻さを増しており、少子化対策は市にとって喫緊の重要問題となっています。」という文言があるわけですが、これはどういう意図または認識をされているのかということですね、また深刻さを増しているというのは文言に読む限りにおいては前段の2つの「働き方の見直しによる仕事と生活の調和の実現」と「包括的な次世代育成支援の枠組みの構築」に係っている気もしますし、まったく別のことを言ってるのかということで、その辺りが不明なので教えて頂きたいんですけれども。</p>
<p>渡邊委員長 事務局(石井)</p>	<p>はい、それでは事務局お願いいたします。ここの部分についてはアンケート結果が載せてあるわけですね。</p> <p>ここの表現でございますけれども、1つは76ページに合計特殊出生率が書かれておりまして、国(1.37)、千葉県(1.29)、富津市(1.05)ということで、大変富津市の特殊出生率が低いということでございます。それに対して少子化については富津市についても喫緊の課題であるということでございます。それに伴ってどうするのだということ、この素案のなかに書かれているということでございます。</p>

萱野委員	<p>少子化対策ということのなかで、この次世代育成支援対策では少ない子どもをいかに育てていくかということに主眼が置かれているかとは思いますが。いまの次長の説明ですと、特殊出生率が減少しているということで、産むという部分がどうも性質上盛り込めないのかもしれないのですが、その部分がどうかなと懸念しているわけでありまして。というのは、前回の会議でありましたように、富津市の人口が全体的に減少しているという傾向があって、さらに高齢化が進んで生産年齢人口と年少人口が減っているというような状況があるわけですね。保育園、保育所、幼稚園においては、地区外からの入園者が20パーセントという数値が出てきてしまっているわけですね。このページを市民はどう考えるかということをございます。地域外からの入園については要件を整えば当然受け入れざるを得ないわけですが、そもそも定員が割れているからそれだけの空きがあるということだろうと思っております。ですから、ここで、「少子化対策は市にとって喫緊の重要課題となっております。」と文言が切れてしまっているわけですが、確かに後ろの資料の説明ということでしょうけれども、その対策について、市としてはどういう姿勢でやっていくのかという文言を後ろに書いておかないと、ちょっと文章として成立しないのではと、言っぱなしかいということに成りかねないと思っておりますが、そこらへんはどうでしょうか。</p>
渡邊委員長 健康福祉部長	<p>はい、事務局お願いいたします。</p> <p>健康福祉部長の森田でございます。お答えさせていただきます。この参考資料の少子化の現状のなかで、一番最後の文章については、上の国全体の動きから、いきなり富津市の動きが現れるというのは説明不足かと思われますので、この点は文章的には整理させて頂きたいと思っております。</p> <p>また、誤解があるといけないのでちょっと説明をさせて頂きたいんですけれども、富津市の保育園が市外から2割の利用者がいる、幼稚園は3割とありますが、そのことについて色々な方からご意見を頂いているわけですが、国が発表しました保育所の定員というのは、利用者よりも定員が多い、だけど地域によってばらつきが</p>

あるという2万5千人もの待機児童のお子さんがいるという行政の話がありますけれども、実は定員というのは年齢別の定員ではございませんし、100人の定員だからいつでも100人が入れるというわけではないんです。これは全て労働されている保育士さんの人力的な配置というものもございますので、100人定員に対して80人しか入っていないからまだ20人入れるというわけではないんですね。申込があって紙に書いてもらったときに3人であったとしても、月～金で55時間保育となり、1日11時間保育をしないといけない。労働は8時間労働ですから倍の人数を配置しないといけない。20人にも1人配置、15人にも1人配置といった配置基準もございますから、定員はこれだけ入れるということではなくて、目安となっているわけございまして、定員に達していないが人力的な問題より受け入れられないという現状がいっぱいあるわけでございます。その点、富津市では幼稚園の3割、保育園の2割、市外の方からの申込みを受けているということは、それだけ一生懸命人的配置行ってですね、親御さん達が安心して働けるというそういう基本的な環境を揃えているということ而努力しているということでご理解賜りたいと思います。以上でございます。

渡邊委員長

はい、ありがとうございます。萱野委員よろしいでしょうか。

萱野委員

ありがとうございます。一応そこらへんのところを市民に分かりやすいように、この数字だけだと非常に誤解を受けやすいと思います。アンケート結果も公表されるのでしょうから。

お隣の市の対応はどうかというと、やはり待機児童が多くて、かなり富津市に通ってきている方であってもなかなか入れないというような状況も聞いておりますので、やはりバランスというのものもあるのかなと思います。それと先ほどの市にとって重要問題となっていますということですが、既に認識しているというような文言になっていますので、この計画のなかで織り込むことはたぶん無理だと思いますが、非常に広範囲な形になりますし、ひいては市全体の街づくりといった部分にまで広がってしまいますので、その部分は上位計画で検討

してまいります等としてもいいと思いますけれども、文章だけは最後にまとめて頂けたら良いのではないかなと思います。

渡邊委員長

はい、ありがとうございました。補足はございますか。よろしいでしょうか。はい、では特に75ページの内容につきましてご検討頂きますようお願いいたします。それから部長の話で富津市の姿勢をお話頂きますして、私たちももっと理解をしていかなければいけないと思いますが、市の方ももっと発信をして頂きたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。他に何かございますでしょうか。はい、小原委員どうぞ。

小原委員

何度もすいません。先ほどのご意見とちょっと重なりますが、少子化ということで他市から幼稚園や保育所に来ているということで、ちょっとした当事者的なヒントですが、昨今は木更津市では医療費が1回に6年生まで200円、袖ヶ浦市はこの4月から中学3年生まで200円ということになって、例えば200円と1000円とどう違うかといったら誰でも分かる話でありまして、安い方に住みたいなど、同じアパートを借りるならって思うと思うんですね。子どもが喘息なんかですと、一回吸引をするだけで500円、アレルギーがひどい場合は午前・午後となってしまって、それに薬を加えると富津市は1日5000円です。前は特定疾患の手当がありましたので良かったんですけども、よっぽど発作を起こさない限り、あるいは救急車や入院の経験がない限り特定疾患を使えないということで、特定疾病患者というのも切られてしまった状態ですと、喘息の方は高学年や高校生位になって落ち着いてきますが、それでもアレルギーというのは消えませんので、鼻炎とか台風が来る前に荒れるとか具合悪くなるとか、叱られて咳が止まらないとか、内面的にも色々問題があるので、そういうことに関して、医療費が近隣さんとあまりにも差があるなと思いますし、あとこの資料のアンケートを見たんですけども、全体的に言えるのは、就学前でも小学生でもお金の負担について気にしていて、はじめは園や幼稚園ですけども、少し大きくなると医療費にお金がかかるということがベスト1になっていまして、次は子連れで遊びや

すく・・・って急に遊ぶことに意識がいつてしまっていて、実際に思ったのは、ランクが低くなっている「子育てに困ったときに相談したり情報が得られる場所を増やして欲しい」、これは行政だけに要望するのではなく、親の危機管理も少し薄いのではないかなと感じました。困ったときにどうするのか、誰に聞くのか、と私は思うんですけども、自分の子どもは困っていないから、あるいは自分は困っていないというような全く個人的な感じが全体として感じられました。

それと最後に1つ、こないだ20年度の次世代育成資料を送っていただきましたが、19年度の資料はないのでしょうか。以上です。

はい、小原委員の質問に対して事務局お願いします。

いまの話のなかで、経済的な支援という話がございました。確かに木更津・君津が小学校6年まで、袖ヶ浦については中学3年までということは認識をしております。この君津4市の地域というのはかなり高い水準なんですね。小学校就学前というのが千葉県の56市町村の主流になっているということがございますので、決して富津市が甘んじているというわけではございません。5年間のなかで市の予算も含めながら、小学校3年まで、6年までというなかで、子ども医療費については検討してまいりたいと思っております。この場でいつまでにどこまでということはこの場で申し上げられませんので、そちらはご了解頂ければと思います。19年の資料というのは・・・。

議事録です。録音したものを送って頂きますよね。

過去のもはホームページで見られるようになっているのでしょうか。それではそれはあとでご回答するという事でよろしいですか。ではそういうことにさせて頂きます。それとアンケート結果についてはよろしいですか。今度またパンフレットとかの制作がありますので、例えばこういう時はこういった相談場所がありますよということで載せて頂けると分かりやすいとは思いますが。

今の小原さんのご意見、私も同感というところがあったんですけども、アンケートというものは、ニーズ調査というとまた違うと申しますか、自分の思っていることを出して頂いて、行政がそれを少しで

渡邊委員長
事務局(石井)

小原委員
渡邊委員長

健康福祉部長

も多く反映してお役に立っていきたく、市民の幸せを高めるために
ということですね。あくまでも参考ですので、「子連れで出かけやす
く」が自己本位ではないのかはそんなのは自分の幸せが 1 番であるの
でもっともなわけで、なんで「相談できる場所を増やして欲しい」が
こんなに少ないのかと言われてもですね、それを少ないととるのか、
25.6%もあるんだととるのか、それを行政としても皆様方と色々な
機会、住民の方々が求めているものを少数意見だから無視する、大
多数の意見だからそれは対応するというわけではございませんので、
行政は少ない人のためにどれだけ役に立てるかも大事なことだと思っ
ています。

渡邊委員長

はい、ありがとうございます。個人個人が集まったの集団で市全体
となりますので、またこういった意見も網羅していただきたいと思
います。ありがとうございました。はい、どうぞ。

教育センター

先ほど相談機関の一覧のようなものがあってはいいんじゃないかと
いうことで、パンフレット等に載せてほしいという意見がございま
したが、特別支援協議会の連絡協議会を教育センターで設置してい
ますが、そこで検討頂いて健康福祉部や児童家庭課等と連携しまし
て、富津市で行っている相談機関の一覧を作りました。現在就学時健
診が各学校で行われていますが、その際に保護者へ配布しています
ので、そういうのをぜひ今度はカラーのパンフレットにも記載してい
けたらと思いますので、有効活用していきたいと思えます。

渡邊委員長

ありがとうございました。他に委員さんございませんか。庁内から
はございませんか。それでは質問は打ち切らせて頂きます。何度
も申し上げますが、何かございましたら後日お寄せ頂けたらと思
います。続いて(2)その他に入ります。事務局お願いします

事務局(鈴木)

冒頭資料の確認のところでも申し上げましたが、前回の推進会議(1
0月9日)での20年度の富津市次世代育成支援行動計画の20年度
の取組状況と21年度の事業計画について、これに対するご質問が
委員の方からございました。この質問及び回答についてお手元にお
配りしましたが、書面の回答をもってかえさせて頂けたらと思
います。ま

た、さらに前回お渡ししましたアンケート調査の内容も含まれておりました。アンケート調査につきましては、市民の方からの率直な声でございますので、市からのコメントは差し控えさせていただきたいと思います。しかし、貴重なご意見でございますので、今後の参考にさせていただきますと思います。

もう1点、今後のスケジュールといたしまして、今月になりますが、今回審議頂いたなかでまたご意見を頂く形にはなるかと思いますが、調整をさせていただいたなかで、庁議そして市議会の方に今月中にはお諮りをしていきたいと思っております。また、12月に一般市民の方にパブリックコメントということで意見を頂き、年が明けて1月下旬～2月中旬に次回の推進会議にて案としてお諮りをしたいと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

もう1点ですが、すいません、誤植がございました。回答の4ページになりますが、ページはP6「1歳6か月児健診」の質問に対する答弁のところで、上から6行目になりますが、「特別支援コーディネーターの先制」となっていますが、正しくは「先生」でございます。申し訳ございません。

渡邊委員長

ありがとうございます。この素案を庁議にかける際には、皆さんからの意見書も盛り込むわけですね。そうしましたら意見書の提出期限はいつ頃まででしたら間に合いますでしょうか。

事務局(鈴木)

庁議は来週の17日で期日が迫っております。今回ご意見を頂いたものについては直せるものについては直してお諮りしたいと思います。その後のパブリックコメントですが、今月の27日までにご意見を頂けたらと思います。

渡邊委員長

今事務局の方からご提案がありましたが、11月27日までに、素案についてご意見がある方は意見を上げて頂きたいと思っております。特に表現の部分ですとか、皆さんに拡大解釈をして頂いているような部分もあるかと思っておりますので、特に自分の団体の関わる部分については熟読をして頂きましてご意見を寄せて頂きたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。他に(2)その他で何かございますか。それでは只今

事務局(平野)	事務局から説明がありましたように、12月にパブリックコメントということで一般市民の方から意見を頂けるようにと、これはホームページ等で公開されるのですか。これに対して委員の皆さんも一市民として参加して頂きたいと思っておりますので、アップされましたらこれについても見て頂きたいと思っております。他に何かございますでしょうか。
事務局(平野)	今のパブリックコメントですが、ホームページと富津広報にも載ります。
渡邊委員長	はい、ありがとうございます。富津広報(12月1日号)にも載るそうですので、ぜひ組織の皆さんにも見て頂いて複眼的な視点で是非ご審議頂きたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。他に何かございますでしょうか。それでは(2)その他の議題を打ち切らせて頂きます。次の会議の予定ですが、事務局お願いします。
事務局(石井)	先ほど申し上げましたとおり、1月中旬から2月中旬のスペンが広いわけですが、その間に推進会議を開催したいと思っております。
渡邊委員長	はい、ありがとうございます。それではちょうど年度末にかかる時期でございますので、皆さんお忙しいかとは思いますが是非ご出席頂けたらと思っております。日にちが決まりましたら早めにご通知して頂ければと思っております。それではよろしでしょうか。これで会議を閉じさせて頂ければと思っておりますが。
事務局(石井)	本日は貴重なご意見大変ありがとうございました。以上で推進会議を終了いたします。